Vol.36
鶴岡地区医師会
地域医療連携室ほたる
R7.2月発行

ほたる便り

地域の切れ目のない在宅医療・介護の提供のために
～ほたるは地域課題の解決に向けた活動をしています～

在宅医療体制の整備

- ニーズに合わせた受け皿の整備や在宅医療の普及と質の向上が必要だが、具体的に何をどうしたらいいの・・・。
- ACP（人生会議）はうまくできている？そのタイミングは？

歯科と介護

- 在宅訪問歯科診療の対象となるのは？
- ケアマネジャーは利用者さんの口腔を見ることある？
- 利用者さんの口腔アセスメントするにあたりそのチェックポイントがわからない。

医療と介護

- 本人の望む暮らしを地域で支援するために医療と介護を担う専門職のさらなる連携が求められているが入退院調整や在宅看取り支援などの課題は山積み。顔の見える関係性をさらに深めていかないといけない。

薬剤師と介護

- 薬剤師とケアマネジャー、お互いのハードルが高くなかなか連携に踏み込めない。それぞれの役割を知り、日頃から気軽に相談できる関係性を作りたいけど・・・

医療と介護の連携のため多職種での意見交換

各研修会の詳細やアンケート結果はほたるホームページ「活動報告」よりご覧いただけます

南庄内在宅医療を考える会

参加者：39名　医師、訪問看護師等

テーマ：**「南庄内の在宅医療における重要なポジションである訪問看護師との意見交換」**

グループディスカッションでは「訪問看護師と医師との連携強化」や「今後の訪問看護ステーションの在り方」をテーマとし、ACPのタイミングや多職種間での共有ができているか、看取りや急変時の連携、情報共有ツールの活用などについて意見を交わしました。また、庄内保健所長の蘆野先生より「地域に求める在宅医療体制」についてのミニレクチャーと会のまとめをいただき、当地域のこれからの在宅医療について改めて考える一つとなりました。

医師～訪問看護師のより一層の連携強化に向けた場となったことはもちろんですが、課題として挙がったオンライン診療や訪問看護師とクリニック看護師の連携推進のため、第２回南庄内在宅医療を考える会は「在宅医療に役立つNet4Umeetを知り、使ってみよう！」をテーマに３月６日と19日に開催します。

鶴岡市医療と介護の連携研修会

参加者：136 名　医師、看護師、リハビリスタッフ、介護支援専門員、社会福祉士、MSW、相談員、介護福祉士など

テーマ：「本人・家族が望む暮らしを支えるために」
～スムーズな支援のために私たちができること～

事例報告では、経口摂取困難となった認知症患者とその家族の想いに寄り添った退院支援と、多職種チームでの連携による支援で本人・家族が望む在宅での最期を迎えられた２事例を報告いただきました。その後、庄内保健所長の蘆野先生のファシリテートにより、この事例をベースに「認知症患者が食事をあまりとれなくなってきたらどうするか」「自宅看取りにおけるチームケアの課題と要点について」ワークショップを行い、専門職の立場から、家族や本人の立場からと様々な視点で意見交換しました。最後に「もしもの時に備える」と題したミニ講話で、これからの当地域の在宅医療の方向性や看取り支援に関する要点や課題をレクチャーいただきました。参加者からは、「それぞれの職種の思いを聞けた」「本人・家族の意向に寄り添った支援をしていきたい」「本人・ご家族へ意思決定は変化していってよいものだと伝えたい」といったコメントをいただき、このような会は、当地域の医療職と介護職の気づきにつながりよりよい顔の見える関係を構築するうえでなくてはならない場であると改めて認識したところです。

歯科医師･歯科衛生士と介護事業所との交流会

参加者：86 名　歯科医師、歯科衛生士、介護支援専門員、介護福祉士、看護師など

初めに「聞いてみて下さい　お口のトラブルわかるかも」と題した口腔状況を聴き取りするポイントのミニレクチャーを歯科衛生士より行っていただきました。その後のグループワークでは、歯科医師や歯科衛生士と直接話せる貴重な機会であることから、訪問歯科診療の費用や対象者の要件、義歯の手入れについて、口腔ケアの仕方、認知症で口を開けない方への対応など歯科の分野の様々な疑問点について情報交換がなされました。また、口腔ケアのチェックはオーラルフレイルの予防へとつながることから、ぜひ実践いただきたいとの話もありました。歯科と介護事業所との交流会は来年度で 10 回目の開催となります。さらなる連携に繋がる会となるよう鶴岡地区歯科医師会様と協働し企画してまいりますので、ぜひご参加ください。

薬剤師会と介護事業所との合同研修会 2024

参加者：60 名　薬剤師、介護支援専門員等　　　　テーマ：「お互いのハードルをさげる」

事例報告では、アイン薬局鶴岡七日町店　薬剤師　佐藤正規氏より「かかりつけ薬剤師からの訪問アプローチ～多職種連携から広がる在宅訪問～」と題し、かかりつけ薬剤師として在宅への介入の必要性を感じ医師に居宅訪問を提案、患者さんご本人とケアマネジャー、薬剤師が信頼関係を構築し、多職種と連携しながら服薬支援を行った素晴らしい事例を紹介いただきました。グループワークでは、かかりつけ薬剤師や訪問服薬指導について、残薬の調整などの薬に関わる疑問点や、情報共有・連携の手段や必要な情報について、お互いのハードルを下げるためできることについて多くの意見交換がなされました。「相談ごとがあれば迷わず連絡しようと思いました」「ハードルが本当は低いんだとわかった」などの声をいただき、お互いの分野について理解を深め、今後の連携につながる会となりました。

一般社団法人鶴岡地区医師会 地域医療連携室ほたる
〒997-0035　鶴岡市馬場町 1-34
TEL：0235-29-3021　　FAX：0235-29-3022
ほたるホームページ　https://www.tsuruoka-hotaru.net/
ホームページ　Facebook